

知識ベース「知識の森」とソサイエティ誌

ジュニア会員の皆さん、こんにちは。今回は、学会の活用法として、知識ベース「知識の森」と各ソサイエティが発行しているソサイエティ誌を紹介します。

ジュニア会員の皆さん、学会などが発行している各専門分野のハンドブックを見たことがありますか？ ハンドブックは、その分野の知識を体系的にまとめたものです。以前は、大学や高専の研究室には分厚いハンドブックが1冊は置いてあったものです。図書館に行けば、様々な分野のハンドブックを見ることができます。電子情報通信学会には、Web版のハンドブックである知識ベース「知識の森」があり、無料で閲覧できます。知識ベース「知識の森」は、2011年に一般公開され、全18群140編で構成されています。さらに、2023年4月からは、電子情報通信学会誌に毎号2件ずつ「知識の森」の新しい記事が掲載されています。学会誌に掲載された記事は、会員でなくても無料で見ることもでき、Web版の「知識の森」にも今後掲載される予定とのことです。まだ見たことがない人は、各分野の専門家が執筆した記事をもとに、自分の知識を深めたり、広げたりするのはいかがでしょうか。



[知識ベース](#)
[「知識の森」はこちら](#)

電子情報通信学会は、5つのソサイエティと1つのグループで構成されています。各ソサイエティでは、論文誌とは別に、ソサイエティ独自のソサイエティ誌を発行しており、Webで無料で閲覧できます。最新の技術動向、研究会や国際会議の開催状況、研究者の研究歴や研究への考え方などを知ることができます。

■Fundamentals Review

基礎・境界ソサイエティとNOLTAソサイエティでは、共同機関誌として、Fundamentals Reviewを年4回発行しており、解説記事、研究会の紹介、国際会議開催報告などが掲載されています。

[Fundamentals Review](#)はこちら



■通信ソサイエティマガジン B-Plus

通信ソサイエティでは、通信ソサイエティマガジン B-Plusを年4回発行しており、小特集、解説記事、子どもに教えたい通信のしくみ：ジュニア会員向けページ、開発物語などが掲載されています。さらに、ジュニア会員向けのページは、ホームページ上にまとめられています。

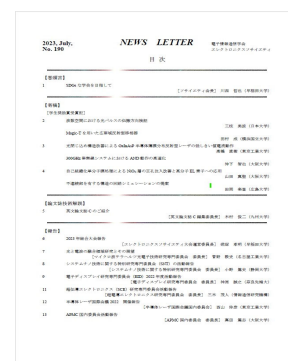
[B-Plus](#)はこちら



■エレクトロニクスソサイエティ News letter

エレクトロニクスソサイエティでは、News letterを年4回発行しており、受賞記事、解説記事、研究会の活動状況などが掲載されています。

[News letter](#)はこちら



■情報・システムソサイエティ誌

情報・システムソサイエティでは、情報・システムソサイエティ誌を年5回発行しており、研究会インタビュー、研究会の紹介、フェローからのメッセージ、テクニカルライティングに関するコラムなどが掲載されています。

[情報・システムソサイエティ誌](#)はこちら



すでにジュニア会員になっている方は、自分が所属するソサイエティが発行するソサイエティ誌を見たことがあるかもしれませんが、この機会に別のソサイエティが発行しているソサイエティ誌を見てみてはいかがでしょうか。新たな発見があるかもしれません。

(宇部工業高等専門学校 三澤秀明)